



令和8年度 学校教育目標

響きあう心 深まる学び あたたかな「和」の中で
たくましく明日をひらく 子どもの育成

今年三和小学校で大切にしたい漢字



三和小学校の「和」です。この言葉の意味を調べてみるといろいろな意味が出てきます。

- ①やわらぐ なごむ
- ②争いごとがない 穏やか
- ③仲良くすること 互いに相手を大切に、協力し合う関係
- ④声や調子を一つに合わせる
- ⑤二つ以上の数を合わせたもの
- ⑥日本 日本語

三和小学校の「和」の字にはこのような意味があります。改めてこの字について注目しても見ると、すごくあたたかく、エネルギーのある字で、みんなで大切にしたい字だと思いました。

「和」の心を大切にすることで、互いに相手を大切に、協力し合う関係になれば、みんなが安心して通える学校になります。みんなで力を合わせることができれば、一人では乗り越えられないことも乗り越えられるようになります。学習の場面でも、一人一人が考えた意見をしっかりと出し合い交流することで、より深い考えにたどり着くことができるようになります。そんな皆さんの姿を想像して、今年度の学校目標を『響きあう心 深まる学び あたたかな「和」の中で たくましく明日をひらく 子どもの育成』といたしました。

この「和」という言葉を大切に、三和小学校がみんなで力強く成長できる場所であり、みんなにとって安心して通える学校にしていきたいと思えます。1年間よろしくお願いします。

★キラリ みつわっ子★

毎日、学校で過ごしていると、様々な場面で、子どもたちのがんばる姿やすてきな姿が見られます。私が見つけた、すてきな子どもたちの姿を『★キラリ みつわっ子★』のコーナーで紹介していきます。

新学期が始まり、3週間が経ちました。少しずつ学校生活にも慣れてきた頃ではないでしょうか。そんな中で、新しい環境にすぐになれるのが苦手な人もいます。ある日の朝、教室に足が向かず体育館の前にしゃがんでしまった子がいました。そんなときに、私ももう一人の先生と一緒にいこうと声をかけかたのですが、なかなか動くことができませんでした。そこに6年生の女の子が数人やってきて、その子に声をかけてくれたのです。しばらく一緒にしゃがんで、好きなことや好きなものの話をしてくれているとだんだん気持ちがほぐれ、教室に向かって走り出したのです。大人では切り替えられなかった気持ちを6年生の人がほぐしてくれて、教室に行くことができたのです。子どもの力ってすごいと感じた出来事でした。声をかけてくれた6年生、ありがとう。新学期早々、6年生のすてきな姿を、そして子どもたちの力のすごさを感じ、とても嬉しい気持ちになりました。

教室に足が向かない日があっても大丈夫です。そんな日もあります。でも、今回のように、声をかけてくれたり支えてくれたりする仲間が三和小学校にはたくさんいます。どうぞ安心して登校してくださいね。